



にしじ

高知医療センター 吉川清志院長 就任のご挨拶

..... P2

初期臨床研修を終えて ～研修を終えた感想と今後の抱負～

- P3
- 第1回認定看護師・専門看護師実践発表会 P4～5
- 画像、この1枚！：皮膚科的症例 P6
- 地域医療連携病院のご紹介：vol.81 医療法人島本慈愛会 島本病院 P7
- 高知医療センター・イベント情報 P8

4

APRIL 2015 Vol.114



武田明雄前病院長より吉川清志新病院長にバトンが渡されました。

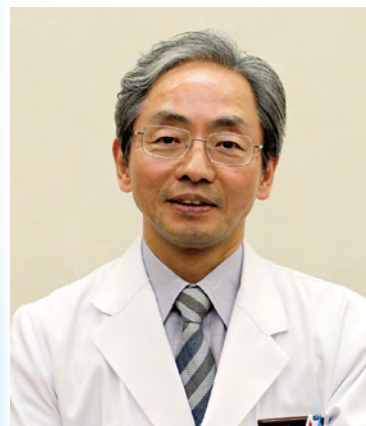
高知医療センターの理念 — 医療の主人公は患者さん —

就任の ご挨拶

高知医療センター新病院長

吉川 清志

kikkawa kiyoshi



地域医療連携によるみんなの幸せ

平成 27 年 4 月 1 日の高知医療センターの病院長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず自己紹介させていただきます。私は岡山県倉敷市の出身で、1976 (昭和 51) 年に岡山大学医学部を卒業後、小児科医になりました。その後、翌 1977 年 4 月に高知県立中央病院に赴任し、4 年間小児科医としての基礎を故浜脇光範先生に教えていただき、1981 年 4 月から岡山大学小児科で榎原幸二先生に指導を受け細胞遺伝学 (染色体) の研究を行いました。そして、1989 年 (平成元年) 4 月に再び高知県立中央病院に帰ってきました。県立中央病院小児科では小児医療全般に加え、新生児医療や救急医療 (輪番制) を進めました。そして、2005 年 3 月高知医療センターが開院し、総合周産期母子医療センターにおいて産婦人科・小児外科など関連各科と連携して、「妊婦さんと胎児と赤ちゃんに最善の医療」を目指してやってきました。2012 年からは副院長として医療安全管理・感染対策を担当し、気が付けば高知での生活が合計 30 年になりました。周囲の方々に支えていただき、置かれた場所で咲かせていただき、今の私があると深く感謝しています。



そして、2015 年 3 月に高知医療センターは開院 10 周年を迎えました。この間、堀見忠司元病院長、武田明雄前病院長の時代は平成 23 年度から黒字経営となり、高度急性期医療を担うため、NICU (新生児集中治療室)、SCU (脳卒中集中治療室)、HCU (高度治療室)、ハイブリッド手術室の増設新設、地域医療支援病院としてはドクターヘリ場外離着陸場、「こころのサポートセンター」の新築、地域連携として「くじらネット」の構築などを行ってまいりました。これらが機能を発揮できているのは、地域の先生方との連携のお陰です。今後も新がんセンターの建設、ICU (集中治療室)、CCU (冠疾患集中治療室) の高機能化などを進めてまいります。そして、地域医療支援病院、基幹災害拠点病院、救命

救急センター、総合周産期母子医療センター等の役割を着実に果たしてゆきたいと考えています。

さて高知医療センターは開院当初から「地域医療センター」を設け、地域の先生方との連携を大切にしてまいりましたが、2025 年に向けてさらに連携を強化した地域包括ケアシステムを構築することが求められています。急激な高齢化への対応は待ったなしの状況であり、特に病床過剰の高知県においては厳しい対応が迫られることになりそうです。私たちがやるべきことは、地域の先生方からご紹介いただいた患者さんに急性期の医療や手術を適切に行い、再び地域の先生方に逆紹介することに尽きると思います。そのために私たちは、紹介しやすい病院、信頼できる医療・看護・医療安全・接遇レベルの病院、安心して逆紹介を受けいただくことができる病院でなければなりません。このような病院になり、高知医療センターの理念の「医療の主人公は患者さん」=Patient first を実現できるよう、職員一丸となって努力してゆきます。

最後に少し高知医療センターの宣伝をさせていただきます。第 1 は若い女性職員が多く高知県の人口減少抑制に一役買っています。産休・育休は人員確保上大きな問題ですが、支える家族がいる人は仕事も頑張ってくれますので、院内保育の充実等働きやすい職場を目指しています。第 2 は若手医師が学び仕事したいと思う病院です。初期研修医のうち 6 人が、引き続き 4 月から専攻研修医 (後期研修医) として働いてくれる予定で、私は大変うれしく思っています。2015 年度から始まる新しい専門医制度において、関連大学との人事交流を深め、できれば県内他病院を支援したいと思っています。第 3 は高知県立大学との包括的連携を推進し、看護学部 (専門看護師資格取得など) のみならず社会福祉学部や健康栄養学部と共に医療ソーシャルワーカーや管理栄養士の養成に協力し、県立大学が行っている地方自治体との連携事業にも協力したいと考えています。

高知医療センター病院長の重責を深く受けとめ、私の職責を果たし、患者さん・地域の先生方・職員に少しでも良い医療や生活を提供し、県民市民の幸せに貢献したいと思っていますので、何卒宜しくお願いします。

初期臨床研修を終えて

～研修を終えた感想と今後の抱負～

3月20日研修修了式が行われました。



初期臨床研修を修了される12名の先生方、この2年間、貪欲に研修されたと思います。お疲れさまでした。そして、おめでとうございます。さあ、これからが選択された道での研修のスタートです。先生方が“For the Patients!”の気持ちで選択されたそれぞれの道を極め、大きく発展されることを確信しています。頑張ってください。【研修管理委員長(副院長) 森本 雅徳】



池田 健太 ikeda kenta

素直な先生方や同期に恵まれあっという間の2年間でした。都会の病院に負けないくらいの多くの手技や診療を経験することができ充実していた一方、勉強不足だったところなど後期研修での課題も多いです。4月からは千葉県の松戸市立病院小児科で勤務します。たくさんことを学んで高知に還元できるよう、名医になり帰ってこようと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



佐藤 真紀 sato maki

指導医の先生方、スタッフの皆さま、患者さまなど様々な出会いに恵まれ、充実した臨床研修を行わせていただきましたことを感謝しております。4月からは内科として地域の病院に勤務することになり、この2年間で学んだことを基礎に精進していきたいと思っております。これからもご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



浦田 知宏 urata tomohiro

初期研修では様々な経験を得ることができました。私は引き続き当院で血液内科の後期研修医としてさらに知見を深め、将来的に高知の医療に貢献したいと存じます。2年間ありがとうございました。そして今後ともよろしくお願いいたします。



田所 佑都 tadokoro yuuto

何もわからない状態で始まった研修医生活ですが、多くの先生方・コメディカルの方にご指導いただき本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今後は医療センターの整形外科でお世話になります。これから患者さんの満足の医療を提供できるよう日々勉強を頑張っていこうと思います。宜しくお願いします。



大浦 奈生子 ooura naoko

2年間お世話になりました。温かく見守っていただき、様々な経験ができ、とても勉強になりました。研修修了後は当院小児科にて勉強をさせていただく予定としています。引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。



筒井 崇 tsutsui takashi

医療センターでの2年間の研修は、あっという間でした。当然ながら壁にぶつかることが多かったのですが、その度に先生方に優しくご指導いただき、何とか乗り越えてこられたと思います。今後は高知県のへき地医療に従事することとなりますが、高知医療センターで培った経験を活かし、頑張っていきたいと思っております。2年間、ありがとうございました。



大窪 秀直 ookubo hidenao

2年間、初期医療から看取りまで、外来から手術まで、本当に多岐に渡り学ばせていただきました。来年度より幡多けんみん病院で内科医として勤務させていただきますが、医療センターの研修修了者として恥じないように日々精進して参りたいと思っております。ありがとうございました。



出原 悠子 dehara yuuko

研修を振り返ると、先生方、医療スタッフのみなさん、患者さん達に助けられた2年間でした。4月からも当院の腎臓内科で後期研修をさせていただく予定です。患者さんに貢献できるように努力しますので、今後ともよろしくお願いいたします。



門脇 陽子 kadowaki youko

2年間、大変充実した研修をさせていただき、誠にありがとうございます。各科または当直で、指導医の先生方には熱心にご指導いただき、大変勉強になりました。この2年間の研修を活かして、4月からの後期研修に精進してまいります。



永野 史翔 nagano fumika

私の場合、高知医療センターでの研修は2年目の1月から開始したため、まだまだわからないことが多いです。4月からは後期研修になるため、早く仕組みや仕事を覚えて対応していければと思います。



近藤 雄一郎 kondo yuuichiro

早いもので、あっという間に2年間が過ぎ去ってしまいました。この2年間、高知医療センターの職員の方々には大変お世話になりました。この初期研修で学んだことを糧として、今後は高知大学脳神経外科で研鑽を積んで参ります。本当にありがとうございました。



栞元 佑大郎 hazemoto yuutaro

この病院での研修を通じて、多くのすばらしい指導医の先生方やスタッフの方々に、ときに優しく、ときに厳しくご指導いただき、大きく成長することができたと思います。来年から当院整形外科で後期研修をすることになりましたので、引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。

認定看護師・専門看護師実践発表会

at 高知医療センター2階 くろしおホール

【テーマ】

知って欲しい！ここまでできる看護の力！

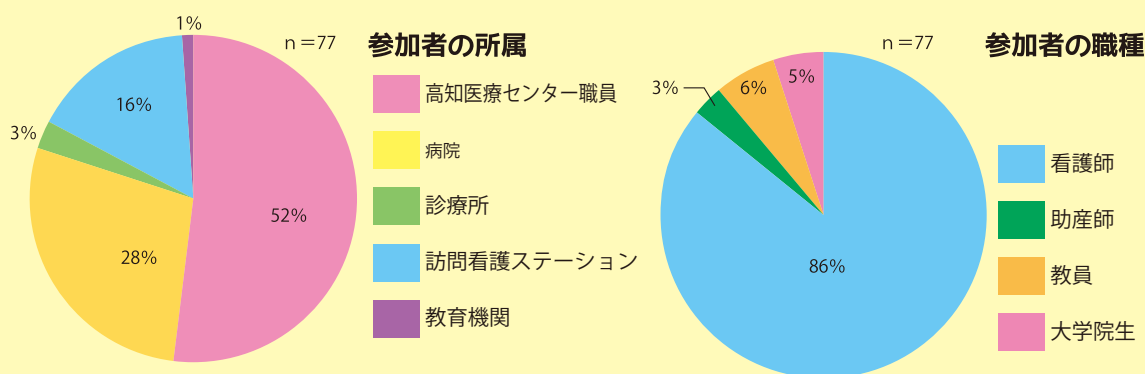


▲講師：関根光枝先生（日本赤十字社医療センター 家族支援専門看護師）

皆さまのご支援のもと、第1回認定看護師・専門看護師実践発表会を開催することができました。高知医療センターに在籍する11分野17名の認定看護師と、4分野8名の専門看護師が、「知って欲しい！ここまでできる看護の力！」をテーマに19題の発表を行いました。参加人数は、院内85名、院外50名の計135名でした。

基調講演は、日本赤十字社医療センター家族支援専門看護師の関根光枝先生をお迎えして、在宅療養を目指す対応困難事例の紹介を通して、専門看護師の「調整」役割に焦点を当てて講演していただきました。

【アンケート結果】回答者77名(回収率66.9%) ※院内の認定看護師・専門看護師の参加者を除く



県内外、様々な施設や職種の方々にご協力いただいたアンケートでは、「施設や領域を超えてディスカッションがなされ多くの学びをいただきました。質疑応答の時間がもう少しいただけたらと思うほどでした。」「もっと専門看護師、認定看護師の実践発表会があればと思いました。」「認定看護師、専門看護師の皆さんが医療センターや地域で活躍している様子や、取り組もうとしている看護がよくわかりました。」などのご意見をいただきました。

基調講演や実践発表会では、認定看護師や専門看護師の日々の取り組みや看護実践など、事例を通じた具体的な活動が紹介され、「このような看護をしているんだ！」と驚きや感動がありました。加えて、質疑応答でも活発な意見交換がなされ、その役割や活動について改めて知る機会となりました。今後は、この発表会を、高知県下の認定看護師と専門看護師が集結し、日頃の実践や活動を発表しあう場として、また、看護管理者の皆さまも交えて、認定看護師・専門看護師の育成や活用について意見交換ができる場として発展させていくことを目指しています。そして、患者さんへの「より良い看護」を目指して、地域や多職種全体で連携していきたいと考えています。



19題の
実践を発表

実践発表内容

【認定看護師】

第1群 <座長> 福田亜紀 笹山睦美

- 01 トリアージナースを活用した救急対応システムの構築 【救急看護】小笠原恵子 伊藤敬介 筒井三枝
- 02 人工呼吸器離脱困難症例の一事例 【集中ケア】森本雅志
- 03 小児救急看護認定看護師の活動について 【小児救急看護】馬場万里子
- 04 極低出生体重児の体位変換～動画によるケアのふりかえり～ 【新生児集中ケア】山本晃子
- 05 不妊症看護認定看護師としての活動 【不妊症看護】関正節

第2群 <座長> 池田久乃 大砂ゆかり

- 06 多職種協働による感染制御チーム活動 【感染管理】山崎みどり
- 07 1類感染症患者受け入れ体制とスタッフ育成 【感染管理】西川美千代
- 08 脳卒中患者回復促進の看護～看護計画の指導～ 【脳卒中リハビリテーション看護】久保光恵
- 09 間質性肺炎患者の転院への関わり 【慢性呼吸器疾患看護】筒井知世

第3群 <座長> 小笠原恵子 有澤良子

- 10 多職種チームで取り組む熱傷ケア～高齢者の下肢火炎熱傷の一例～ 【皮膚・排泄ケア】竹崎陽子
- 11 病棟所属の皮膚・排泄ケア認定看護師の取り組み
～食道がん術後の縫合不全による頸部瘻孔ケアへの介入事例より～ 【皮膚・排泄ケア】本山舞
- 12 在宅療養を支える看護外来～ストーマ外来の実際～ 【皮膚・排泄ケア】片岡薫
- 13 手術室看護師教育の現状と課題 【手術看護】大砂ゆかり

【専門看護師】

第4群 <座長> 関正節 片岡薫

- 14 胎児異常の診断を受けた妊婦への看護～心の軌跡に向き合い、寄りそうこと～ 【母性看護】有澤良子
- 15 NICU、GCU 入院児への退院支援における看護実践 【小児看護】笹山睦美
- 16 医療的なケアを必要とし在宅移行した1事例 【小児看護】松岡義典
- 17 小児看護専門看護師の活動～子どもを亡くした家族へのグリーフケアの一例～ 【小児看護】三浦由紀子
- 18 がん患者の意志決定支援～よりよい療養生活を支える看護～ 【がん看護】池田久乃 高橋志保
- 19 リエゾン精神看護専門看護師の実践 【精神看護】福田亜紀

実践発表の中で最も看護の力を感じた発表は？

選ばれました！

小児看護専門看護師の活動

～子どもを亡くした家族へのグリーフケアの一例～

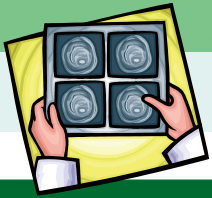
三浦由紀子さん

悪性疾患と診断され、長期間の闘病生活の末に亡くなったお子さんのご家族から、亡くなったお子さんのために何かできることについて相談があり、家族に寄り添いながら多職種とともにグリーフケアを6年間継続してきた看護に関する発表でした。お子さんが亡くなったことで、ご家族には身体的・精神的な反応が表れ、日常生活にも影響が出ている中で、医療者からの支援が、家族が前にすすむ力となったことが報告されました。



次回の実践発表会

2015年10～11月頃を予定しています。
院外の方もぜひぜひご参加ください。



画像、この1枚!

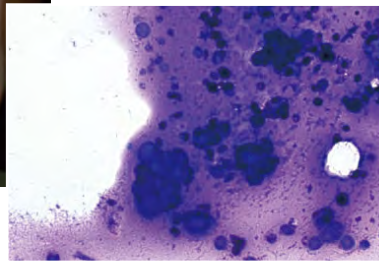
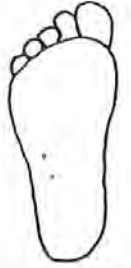


皮膚科的症例



【CASE ①】

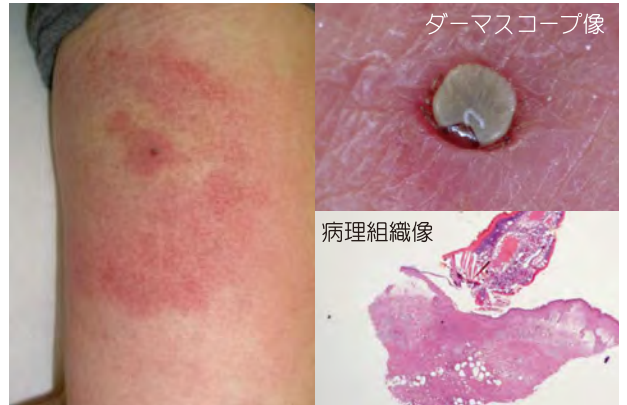
患者さんは61歳女性。腎移植後、免疫抑制剤等内服治療継続中。4日前より右足底の痛みがあり、同部に2カ所できものができていたという。昨日には右足全体に強い痛みが生じ、足をつけて歩けなくなったため、休日救急外来受診。救急担当医より当番皮膚科医をコールされた。なお普段は普通に歩行できていた方である。初診時右足底にわずかに水疱2カ所(右図)。異汗性湿疹様。少し局所熱感あり。抑えると痛い。軽度の化膿性病変として対応した。(なぜ痛いのか?歩けないのか?)



2日後再診。痛みのため車いす移動。水疱集簇。ギムザ染色でウイルス性巨細胞陽性。右足底に生じた帯状疱疹と診断し抗ウイルス剤(腎機能に注意)、鎮痛剤投与開始。その後痂皮化し略治。疼痛も軽快した。
～後医が名医となる疾患の代表かもしれません。また、まさかこんな所と思うような症例であったかも…。～

【CASE ②】

患者さんは56歳女性。高知の〇〇の山にタケノコ狩りに行ってきた。翌朝気がつくと左大腿部が赤く腫れあがってきたため、皮膚科受診された。紅斑の中央部にマダニが皮膚に食らいつき(ダーマスコブ像)吸血していました。局所麻酔下で全摘除。病理組織所見では浅い潰瘍を呈し、真皮から皮下深部にまで好酸球・リンパ球・好中球などの強い炎症細胞浸潤あり。ミノサイクリン内服、ステロイド外用等で1週間で治癒。再燃なし。その後SFTS(重症熱性血小板減少症候群)が世間では騒がれ、多くのマダニ咬傷患者がやってきました。
～マダニにより人間界が騒がしくなるのがいつまで続くのでしょうか?～



【CASE ③】

患者さんは1歳男児。中耳炎、驚口瘡あり。その後うで、口のまわり、腰のあたりに紅斑出現。全身へ発疹がひろがり水疱形成。発熱あり。急患センターでヘルペスといわれ抗ヘルペス剤とかぜくすり処方。解熱するも皮疹は改善せず、皮膚科紹介された。保育所で手足口病がはやっている。機嫌良好。四肢、口囲などに丘疹、水疱集簇。抗生剤、抗アレルギー剤、ステロイド外用剤などで対症治療。

1週間後には痂皮化。治癒。高知県衛生研究所ウイルス分離 咽頭ぬぐい液にてCoxsackievirus A6 検出

○小児のこんなひどい皮疹何だろうか?→ここ数年流行の手足口病
通常の手足口病はコクサッキーウイルスA16, A10、エンテロウイルス71によるとされ、四肢と口腔粘膜に小水疱性紅斑をきたす。ここ数年の非定型な皮疹と臨床症状をとる手足口病は小児のみならず、成人にも発症。成人例は小児よりも重症。激しい口腔内病変、時にアフタ様口内炎で摂食困難。通常の手足口病より大型の水疱形成。発熱などの全身症状を伴うことが多い。
～皮膚科医も当初はおどろく皮疹のでかたでした。～

(皮膚科 科長 高野浩章)



医療法人島本慈愛会 島本病院

〒780-0841
 高知市帯屋町2丁目6-3
 TEL : 088-873-6131
 FAX : 088-802-3613
 HP : <http://www1.ocn.ne.jp/~shimamoto/>

【診療科】

内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、
 脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科

【併設施設】

なし(院内保育所あり)

| 診療受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00 ~ 12:30 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | △ |
| 13:30 ~ 17:00 | ● | ● | ● | ● | ● | △ | △ |

(休診日：日曜・祝日(年末年始は 12/31 ~ 1/3 休診))



島本院長とスタッフのみなさま

昭和23年の開設以来、帯屋町の病院として67年。中心市街地にあり、交通機関や買い物などに便利です。入院患者さんのお散歩コースは高知大神宮→高知城が定番です。夏はよさこい祭りで盛り上がります。

外来部門は一般内科に加え循環器内科、神経内科、脳神経外科、消化器内科のそれぞれ専門医(常勤)がいます。高知県は神経内科専門医が不足しており、当院からも丸吉夏英医師を高知医療センター神経内科に派遣しています。

入院部門は、療養病棟139床(医療療養59床、介護療養80床)で慢性期の入院療養を支援しています。

平成24年3月に本館耐震工事が完了。院是「慈愛協調」の精神を守り、職員一同、看護・リハビリテーションに努力しています。

(島：島本病院、高：高知医療センター)

高：貴院が現在力を入れていることを具体的にお聞かせください。

島：とくに、神経難病・認知症患者さん、慢性心臓病患者



者さんの入院を積極的に受け入れています。長期治療が必要な方が安心して過ごせる環境づくり、リハビリ、褥瘡対策や口腔ケアを通してなるべく長い間おいしく食事をとっていただくよう頑張っています。

外来診療では、基幹病院とは違う「身近な専門医療の提供」を目指しています。

高：地域との連携や他医療機関との連携について貴院での取り組みなどお聞かせください。

島：かかりつけ医として患者さんの病気を把握し、専門的医療・急性期治療が必要な時にはご希望の病院に診療情報を提供しています。紹介先のドクター、スタッフとこまめに連絡をとりあっています。

急性期治療のあとで入院が必要であれば転院を受け入れ、治療・リハビリを続けています。

高：今後、貴院が目指されていくことなどをお聞かせください。

島：いま高齢化社会となり、一人ひとりが多くの病をお持ちです。身近なかかりつけ医として寄り添い、時には他の医療機関と連携を取りながら、皆様の健康を守っていきたくと思っています。

病状によっては入院治療も可能です。お困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。

高：最後に高知医療センターとの連携についていかがですか？

島：医療センターには高度医療・緊急医療で本当にお世話になっています。これからも一層の連携を図り、微力ながら我々も一緒に地域医療に貢献していくつもりです。

広報誌「にじ」は貴センターの状況がよくわかり、毎回楽しみにしています。

各種講習会のご案内も助かります。病院スタッフのレベルアップに役立っています。

ご多忙の中、取材にご協力いただきありがとうございました。

| 月 | 日 | 曜 | 高知医療センター イベント情報 4月～ | | | |
|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------|---------------|--------------------------|
| 4月 | 10 | 金 | 高知医療センター新人看護師研修 他施設公開研修 (参加費無料・事前申込要) | | | |
| | | | 研修名 | スキンケア1 | 場所 | 高知医療センター 1F 研修室 2・3 |
| | | | 講師 | 皮膚・排泄ケア認定看護師 | 時間 | 9:00 ~ 11:00 |
| | 参加ご希望の方はお問い合わせください お問い合わせ: 高知医療センター 看護局 教育担当 (藤原、野田、藤本) TEL:088(837)3000 | | | | | |
| | 12 | 日 | 高新・高知医療センターがんセミナー・2015 (参加費要・事前申込要) | | | |
| | | | 内容 | 「がん」と闘うために、 「がん」についてもっと知りましょう! | 場所 | 高新文化教室 (RKC高知放送南館3階37号室) |
| | | | 講師 | 高知医療センター 副院長 森田 荘二郎氏 | 時間 | 10:30 ~ 12:00 |
| | お問い合わせ: 高新文化教室 TEL: 088(825)4322 受講料 9,850円/全12回 1,500円/1回 | | | | | |
| | 23 | 木 | 高知医療センター開設10周年記念講演会 (参加費無料・事前申込不要) | | | |
| | | | 内容 | 包括的脳卒中センターの 構築と脳血管内治療 | 場所 | 高知医療センター 2F くろしおホール |
| | | | 講師 | 藤田保健衛生大学 脳神経外科臨床教授 中原 一郎 氏 | 時間 | 18:00 ~ |
| | お問い合わせ: 高知医療センター 脳神経外科 太田剛史 TEL:088(837)3000 | | | | | |
| 23 | 木 | 第17回 こうち東部循環器アライアンス (参加費無料・事前申込不要) | | | | |
| | | 内容 | 外来でみる不整脈 | 場所 | 田野町ふれあいセンター | |
| | | 講師 | 座長: まつうら内科消化器科 院長 松浦 靖 氏/講師: 高知医療センター 循環器内科 科長 細木 信吾 氏 | 時間 | 19:00 ~ 20:30 | 対象 |
| お問い合わせ: 高知医療センター 事務局・経営企画課 田植 TEL:088(837)3000 | | | | | | |
| 5月 | 13 | 水 | 高知医療センター新人看護師研修 他施設公開研修 (参加費無料・事前申込要) | | | |
| | | | 研修名 | メンタルヘルス1 | 場所 | 高知医療センター 1F 研修室 2・3 |
| | | | 講師 | 精神看護専門看護師 | 時間 | 8:30 ~ 12:00 |
| | 参加ご希望の方はお問い合わせください お問い合わせ: 高知医療センター 看護局 教育担当 (藤原、野田、藤本) TEL:088(837)3000 | | | | | |
| | 17 | 日 | 高新・高知医療センターがんセミナー・2015 (参加費要・事前申込要) | | | |
| | | | 内容 | 肺がん治療の現状と今後 | 場所 | 高新文化教室 (RKC高知放送南館3階37号室) |
| 講師 | | | 高知医療センター 呼吸器外科 科長 岡本 卓 氏 | 時間 | 10:30 ~ 12:00 | 対象 |
| お問い合わせ: 高新文化教室 TEL: 088(825)4322 受講料 9,850円/全12回 1,500円/1回 | | | | | | |

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

編集後記

平成27年4月より、地域医療連携誌「にじ」の編集に携わらせていただくことになりました。平成20年より地域医療センター長を務めさせていただき、「顔の見える高知医療センター」を目指して地域との医療連携の強化に努めてまいりましたが、雑誌の編集に関わるのは今回が初めてです。創刊号以来、編集に携わってこられました深田先生の後任としては、はなはだ頼りない限りではありますが、頑張りますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

(地域医療センター長 西岡 豊)



平成27年4月1日発行
にじ 4月号 (第114号)
毎月発行
編集者: 広報委員会
発行者: 吉川 清志
印刷: 株式会社高陽堂印刷

発行元:
高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125-1
TEL: 088(837)3000(代)

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp